

Make Value



<https://www.artner.co.jp/>

Engineer Support Company

社長メッセージ / 会社概要

社長メッセージ

業界内で自他共に認めるNo.1高付加価値のエンジニア集団を目指します。



代表取締役社長

関口 相三

アルトナーは、モノづくりの研究開発、設計開発、生産関連の業務工程に対して、ソフトウェア、電気・電子、機械分野の専門的技術サービスを提供するエンジニア集団です。

1962年に大阪技術センターとして設立以来、日本を代表する大手メーカーをはじめ、産業の発展を支える企業の最先端の設計・開発プロジェクトに数多く参画してまいりました。

「エンジニアサポートカンパニー」の経営理念に立ち、エンジニアは自己実現と自己成長を追求し、アルトナーはエンジニアをサポートする環境を絶えず整備していく。エンジニアとアルトナーは、このような関係であり続けたいと考えております。

アルトナーは、業界内で自他共に認めるNo.1高付加価値のエンジニア集団を目指し、挑戦を続けてまいります。引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

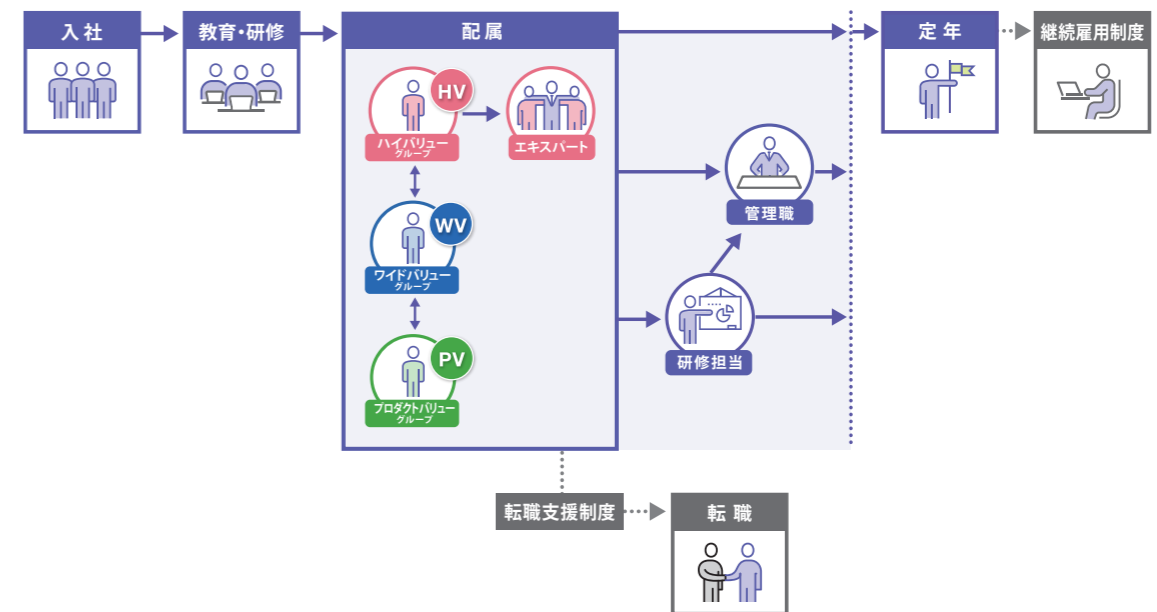
拠点一覧



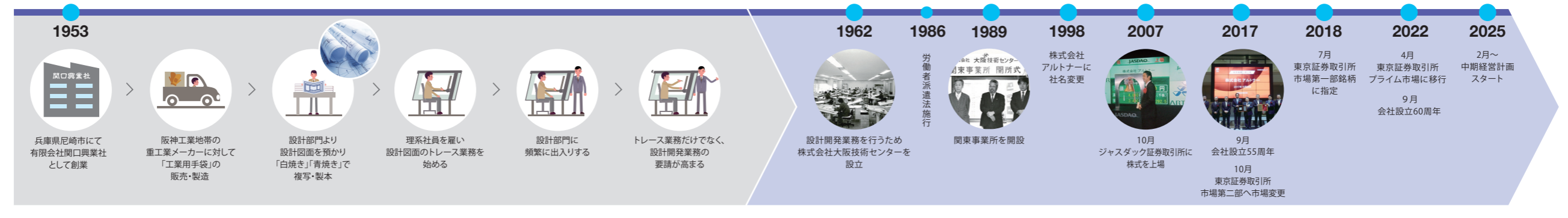
エンジニアのキャリアパス

正社員として入社したエンジニアは、教育・研修を経て、適性に応じてグループに所属し、顧客企業に配属されます。「定年まで現場で仕事」「エキスパート」「研修担当」「管理職」等のキャリアパスの選択が可能です。

定年後も継続雇用制度により、仕事を続けることができます。また、転職支援制度により、エンジニア本人が希望して配属先の顧客メーカーからも要望があった場合、その転職をサポートします。さらに、Uターンで地元に戻って働くためのサポートもしています。



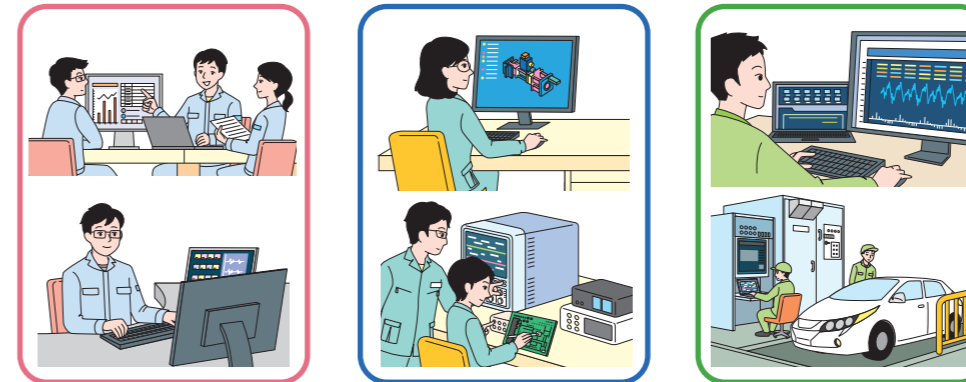
沿革



セグメント戦略 / 技術領域

アルトナーの提供する「専門的技術サービス」

産業構造の変化に伴い多様化する顧客企業のニーズや、モノづくりの工程で広域・多様化する業務領域に対応するために、アルトナーではマーケットを「ハイバリュー」「ワイドバリュー」「プロダクトバリュー」と3つにセグメント化した戦略を推進しています。この体制のもと、マーケットに適した人材の採用・教育を実施し、顧客企業に対してマッチング精度の高いエンジニアの供給を実現します。



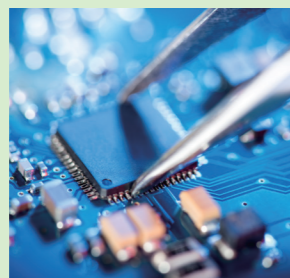
アルトナーの技術領域

ソフトウェア IoT機器に組み込まれるソフトウェアやネットワークシステムのアプリケーションソフトウェアの開発を行います。



- 【エンベデッド】 機械や機器に組み込まれる制御システムのソフトウェア開発に対応
- 【ITソリューション】 PC、タブレット端末やサーバを対象とするネットワークシステムのソフトウェア開発に対応
- 【モデルベース】 モデルに基づいた先行研究、及び新規開発の開発フェーズにおける要件定義や設計など上流工程に対応

電気・電子 機器や装置の心臓部となる回路基板設計、信頼性評価を行います。

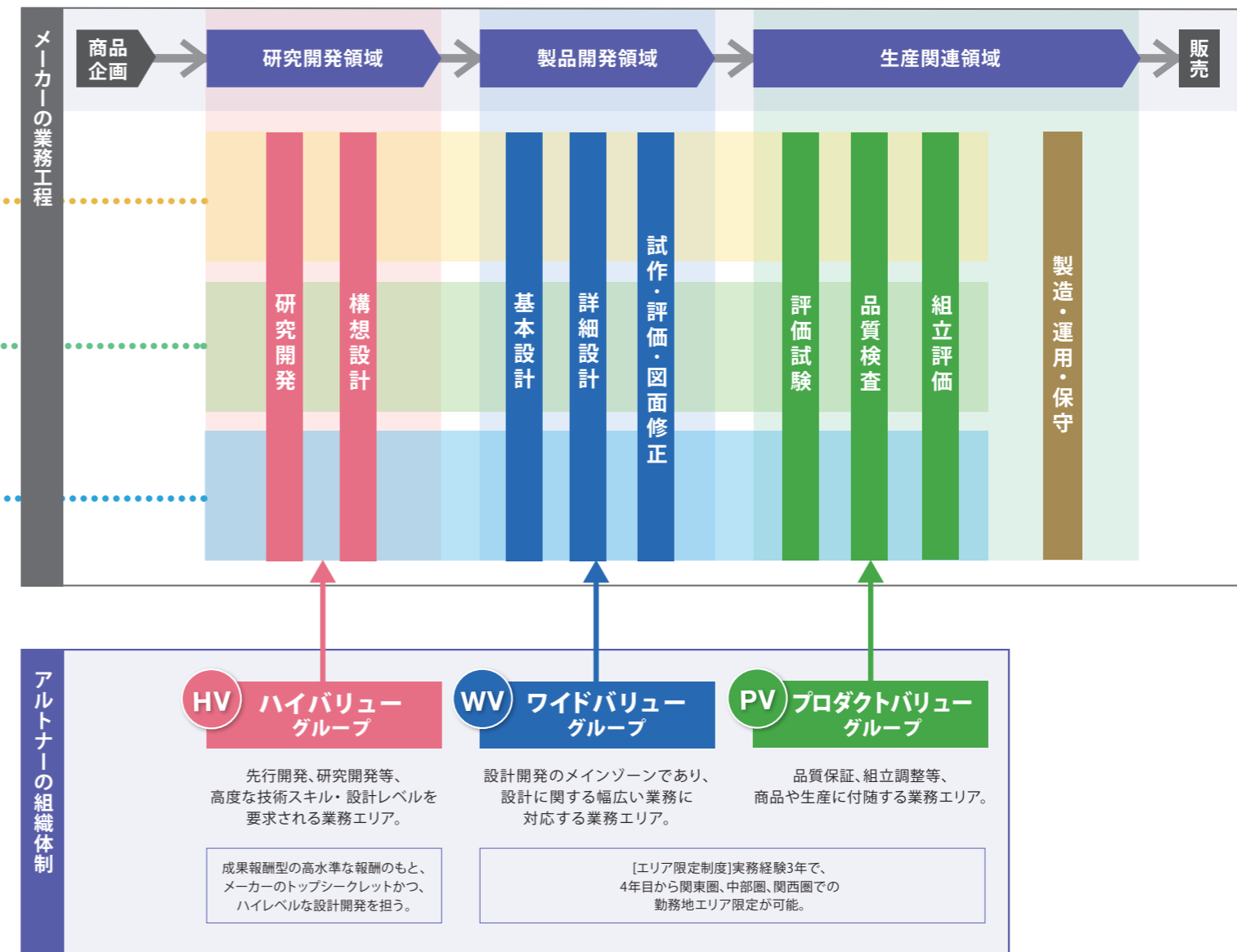


- 【電気機器】 電気設計並びに生産設備とその技術に対応
- 【電子回路】 プリント基板を対象とした電子回路設計に対応
- 【電子デバイス】 集積回路、及び電子デバイス単体の開発、周辺回路設計に対応

機械 2D CAD・3D CADを使用して、機械が動く仕組みの設計を行います。



- 【駆動システム】 エネルギーを生成、変換、蓄積、伝送する仕組みの開発に対応
- 【機構】 生産設備、装置のメカニズムの開発に対応
- 【構造・素材】 デザインをベースにした商品の形状設計、構造物・筐体の設計、新素材の開発に対応






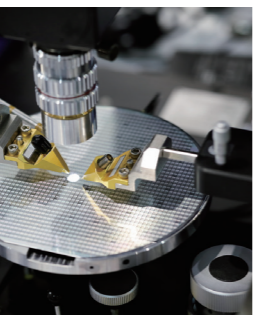


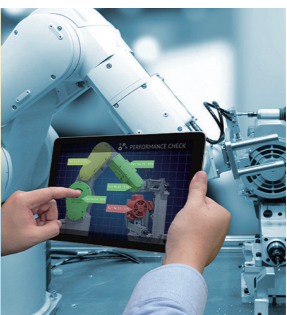


活動領域／ビジネスモデル

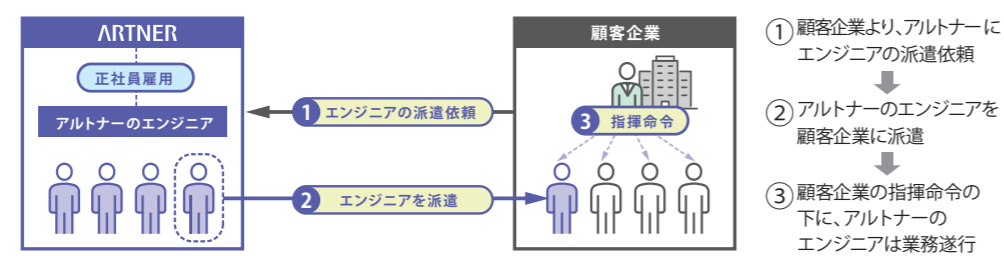
活動領域(プロジェクト別)

アルトナーのエンジニアの活動領域は多岐にわたり、様々な製品に技術サービスを提供しています。

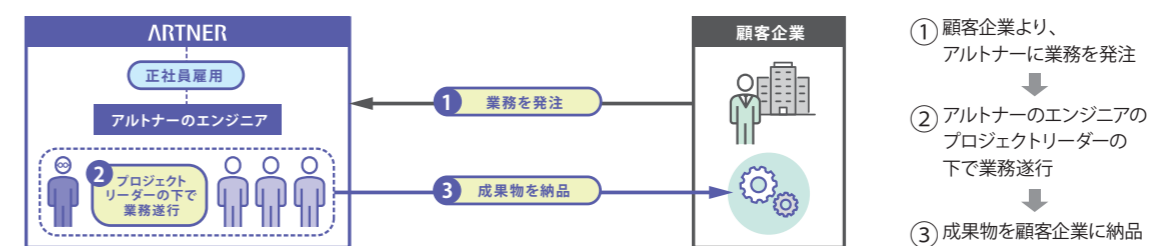
- ソフトウェア
- 電気・電子
- 機械
- HV ハイバリューグループ
- WV ワイドバリューグループ
- PV プロダクトバリューグループ

<p>電気自動車(EV)</p> <ul style="list-style-type: none"> ブレーキ制御システムの開発 モーター・インバーターの解析 車載電池の安全性評価 エコカー充電器の開発 駆動用モーターの開発 		<p>燃料電池自動車(FCEV)</p> <ul style="list-style-type: none"> 水素ステーションのシステムの研究開発 エネルギーに関わるシステムの研究開発 燃料電池の基本性能の解析 水素の安全性の研究開発 次世代燃料電池の研究開発 		<p>自動車</p> <ul style="list-style-type: none"> 電動パワーステアリングの制御ソフト設計 HILSを用いたシステムテスト 社内専用ツール(RPA)の開発 自動車向けメータ・HUDの回路設計 ワイヤーハーネス回路設計 ECU評価・試作 車体・ドアの設計業務 自動車部品の品質検査 		<p>医療機器</p> <ul style="list-style-type: none"> X線診断装置の制御ソフトウェア開発 医療システムの評価 医療機器の構成部品の検証データ収集 医療機器向けの電気回路設計 X線診断装置のEMC評価 高機能カテーテルの研究開発 輸血・輸液セットの改良、次期セットの設計 	
<p>ハイブリッド車(HV)</p> <ul style="list-style-type: none"> パワーユニットの機能開発 制御システム設計開発 ハイブリッドシステム設計 次世代HVのバッテリー関連の研究開発 HV車用トランスミッションの車載実験評価 		<p>自動運転</p> <ul style="list-style-type: none"> AD/ADAS領域ソフトウェアの設計開発 AIによる検知システムの開発 カメラ画像による自動周辺監視システムの先行開発 駐車支援システム(自動ブレーキ、アクセル制御等)の開発 レーンキープアシスト(ステアリング補助等)の開発 		<p>航空宇宙機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 人工衛星の地上システムのアプリケーション開発 人工衛星に搭載される機器の詳細設計 航空機の強度解析 		<p>自動二輪車</p> <ul style="list-style-type: none"> 二輪向けECUのソフトウェア設計 二輪研究開発における車両テスト 二輪用クラッチの設計開発 	
<p>半導体</p> <ul style="list-style-type: none"> 半導体露光装置のソフトウェア開発、制御ユニットの開発 半導体露光装置の回路設計、画像処理システムの開発 液晶露光装置の計測・解析・制御・評価 半導体露光装置の温調機の開発(筐体の構想、基本設計) 		<p>レーシングカー</p> <ul style="list-style-type: none"> 走行に関わる実験・解析 エンジン領域の開発 シャーシ・サスペンション・アンダーボディーに関する設計開発 		<p>家電機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 白物家電のソフトウェア開発 白物家電のシステムテスト スマートフォンの基板の試作・評価・解析 AV機器の開発 白物家電の設計開発(筐体設計、構造設計) 		<p>産業機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業機器用の制御ソフト開発 IoTデバイスを使用したサービスツールの開発 電子顕微鏡等の解析 衛生用品製造装置の設計 生産設備の機構設計開発 	

ビジネスモデル(技術者派遣事業)



ビジネスモデル(請負・受託事業)

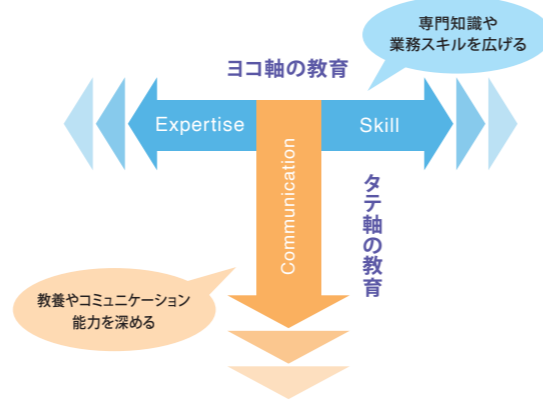


教育・研修

教育・研修ポリシー

T字型スペシャリスト教育システム

ヨコ軸に専門知識と業務スキル、
タテ軸に教養とコミュニケーション能力。
アルトナーでは独自の教育システムの導入により、
エンジニア一人ひとりのスキルアップ体制を構築。
新入社員の最先端プロジェクトへの早期参画、
成長産業分野へのキャリアシフトも実現します。



教育・研修フロー

入社後は、「一般研修」「社外実務研修」「基礎研修」「カスタマイズ研修(応用研修)」というプロセスを経て、
メーカーのプロジェクトに配属。配属後も「キャリアサポート講座」により、顧客企業への細やかな対応力を養います。



新入社員研修

一般研修

ビジネスマナー、社会人としての心構え、
アルトナーに関する様々な知識を学びます。

基礎研修

エンジニアの第一歩として必要な、
基礎知識と基礎スキルを習得します。
どのような実務にも対応できる技術基盤を
固めます。



社外実務研修

実際のモノづくりの現場を体験。
OJTで実施し、習得スピードを速めます。

カスタマイズ研修(応用研修)

特定の顧客企業の業務にターゲットを絞り、
より現場に即したプロセスで研修が進行。
必要な技術スキルを基礎から実践まで
幅広く身に付けます。



その他の研修

キャリアサポート講座

配属先メーカーの要望スキルに対応するため、業務・キャリアに沿った講座を階層別実施。

フォローアップ研修(業務状況確認)

新入社員との定期面談。業務及び生活面に対する
フォローアップを行い、指導と支援を行う。

個人面談(スキル確認)

エンジニアとの定期面談。
スキルの確認・指導を行う。

能力開発セミナー(人間力UP)

様々な分野から講師を招き開催。特定の技術分野に限らず、幅広い知識を習得、人間力を育成。

資格取得推進(専門力UP)

専門スキルアップを目指す資格取得を推進。合格者を対象に、受講料や資格手当などをバックアップ。

メンタルヘルスケア

専属のカウンセラーが常時対応。
エンジニアが直面する様々な問題に対してサポートを行う。

管理職者研修

管理職者として更なる人間力の向上を目的とした人間づくり研修
をディレクタークラス、マネージャークラス、チーフクラスで実施。

産学連携

大学が保有する高度な技術とアルトナーの持つ実践的な技術を組み合わせ、産学連携を発展させています。

大学での講義

当社の研修スタッフが、大学で非常勤講師として、
また、ゼミ講師として、実践的な講義を行っています。

出版教材

企業と大学のご協力を得て、当社に蓄積された「機械」
「樹脂板金」「電気・電子・ソフト」「半導体」の研修ノウハウ
を書籍にまとめ、当社の教育・研修で活用しています。



学会・団体との連携

加盟学会・団体にて、論文発表を実施。
大学関係者との親交を深めています。

能力開発論文集

研修システム、成果を論文として、教育・企業関係者に
公開。広範囲の人材育成の現場で活用されています。



サステナビリティ／パーパス／社是／経営理念

サステナビリティ

サステナビリティ基本方針

人づくり	モノづくりを支える人(技術者)をつくる。
全従業員の幸福(しあわせ)	従業員がやりがいを持って働けるよう職場環境を整備する。
コーポレート・ガバナンス	法令等を遵守し、すべてのステークホルダーとの良好な関係の維持発展に努める。
社会貢献	豊かな社会をつくるため、事業を通じて社会に貢献する。

SDGs達成に向けた取り組み

事業を通じて社会課題の解決に貢献し、世界が目標に掲げる「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成を目指します。



イニシアティブへの参画

TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)



国連グローバル・コンパクト



人権方針

人財ビジネスを展開していく上で、当社の「人財」である全ての社員に対する様々な配慮が不可欠であると考えております。当社の人権の考え方を社員に浸透させ、人権意識を高めるために、継続的に全社員向けの研修を実施しています。

プログラミング教室

プログラミング的思考を育む一助としてプログラミング教室を開催しており、今後もプログラミング教育に取り組んでいきます。

「健康経営優良法人」に認定

健康経営宣言に基づき健康経営を推進して参りましたが、その取り組みが外部からも評価されております。



コンプライアンス

東京証券取引所プライム市場に株式を上場

上場承認のため、東京証券取引所より「継続性」「収益性」「健全性」等の適格性の審査を受けており、また、上場後は、企業情報の開示により、第三者のチェックを受けております。上場企業として、社会的責任を自覚し、コンプライアンス体制の充実に努めております。



プライバシーマークを取得

個人情報・機密情報その他事業運営上知り得たすべての情報の適正な管理に努めております。



パーパス

日本が世界に誇る財産である エンジニアの成長、自己実現をサポートする。

資源が乏しい日本において、エンジニアは世界に誇る財産です。アルトナーは、エンジニアの成長、自己実現をサポートするプラットフォームです。アルトナーは、エンジニアをアルトナーの財産としてだけでなく、日本の共有財産と捉えて、育てていきます。人財の流動化やダイバーシティなど、労働を取り巻く環境、働く意識が急速に変化する中、アルトナーは、エンジニアの働く幸福を追求し、“エンジニアの生き方”の新しいモデルを創ります。

社是

精神の追求 智識の追求 創造の追求

事に処し選ぶべき道に確固たる決断を要するときは、すべからず冷静を第一とし、如何なることよりも、常に基本にかえることを考えよ

経営理念

エンジニアサポートカンパニー

—私達は技術者の夢をサポートします—

人をつくり 技術を育み
技術者を通じ社会に貢献し
全従業員の幸福と会社の反映を目指します

※「幸福」には、人から与えられるのではなく、自らが進んで行動することで「しあわせ」になるという思い、「反映」には、相手を照らすことで自らにも反射し互いに輝くという思いを込めております。

社名の由来

狭義での設計にとどまることなく、より優れたクオリティを追求する「Art(より広く技術全般)」としてとらえ、顧客の信頼に応える「Partner(パートナー)」であり続けることを意味しています。

